

エコ・グッズ&グリーン・コンシューマーの歴史

参考文献 環境goo  
下川耿史『環境史年表・明治・対象編』  
『環境史年表・昭和・平成編』

エコ・グッズの歴史 (エコ・グッズの歴史)	グリーン・コンシューマー の歴史(補足説明1)	左記に関連する企業・媒体 ・行政の歴史	補足説明 関連情報
1951 国産合成洗剤第1号・販売 1957 たばこ自販機登場 1958 日本初の太陽光発電システム開発 1960 1962 設置式太陽熱温水器開発		青山に最初のスーパー・ピーコック 東京都尿尿浄化槽設置貸付条例	補足説明1 グリーンコンシューマーとは以下の十原則を守る消費者と言っても良いだろう
必要な物だけ買う。 ごみを買わない、容器は再利用できるものを選ぶ。 使い捨て容器は避け、長く使えるものを選ぶ。 使う段階で環境への影響が少ないものを選ぶ。 つくる時に環境を汚さず、つくる人の健康を損なわないものを選ぶ。	東京でゴミの定時収集始まる 環境公害新聞(環境新聞)創刊 厚生省一部の食品着色料を禁止 消費者保護基本法公布 米・マスクー法可決 大坂百貨店協会過剰包装対策 千葉県ゴミゼロ運動 大垣市「リサイクル運動」開始	東京でゴミの定時収集始まる 環境公害新聞(環境新聞)創刊 厚生省一部の食品着色料を禁止 消費者保護基本法公布 米・マスクー法可決 大坂百貨店協会過剰包装対策 千葉県ゴミゼロ運動 大垣市「リサイクル運動」開始	自分や家族の健康や安全を損なわないものを選ぶ。 使った後、リサイクルできるものを選ぶ。 再生品を選ぶ。 生産・流通・使用・廃棄の各段階で資源やエネルギーを浪費しないものを選ぶ。 環境対策に積極的なお店やメーカーを選ぶ。
1964 ミクミ紙業・ちり紙交換方式を考案 1965 1967 1968 1969 川崎で空気清浄機が普及 1970 1971 日本有機農業研究会発足 1972 ホンダC V C Cエンジン開発 1973	石油危機でトイへの買い占め広がる 東京・リサイクル市民の会設立 合成洗剤追放全国集会	有吉佐和子『複合汚染』出版 広島市ゴミ分別開始	補足説明2 英国人性アニー・ロディックが自然原料で化粧品などを製造販売することから出発し、環境・人権・動物への配慮をポリシーとする多国籍企業へと発展したエコブランド。
1974 1975 英ブライトンでボディショップ開業(補足説明2) 1976 1977 1978 1979 滋賀議会有リン洗剤使用禁止 1980 合成洗剤の無リン化始まる 古紙の市況悪化 東陶・ウォシュレット販売 ホンダ省エネ車シティを販売	藤本敏夫・大地を守る会(有機農産物販売)結成 神戸市で日本初のガレージセール 琵琶湖を守る粉石鹸運動広がる 石油節約のため省エネルギー登場	工業技術院ソーラーハウス1号完成 独・ブルーエンジェル・マーク導入 スーパー・ポリ袋導入(紙から) 日本OECDで特定CFC生産凍結を表明	補足説明3 平和運動グループが自己資金600万マルクを元に設立したフランクフルトの協同組合銀行。投資先はエコ企業や女性起業等に限定して、それらを支援した。現在は存続していないが、他国(わが国を含む)に運動は波及。
1981 1983 単独浄化槽の新設禁止 合併浄化槽への一本化 1984 1985	滋賀大津生協「くらしの点検表」(最初の実用的環境家計簿)を公表 アフリカへ毛布を送る会結成 日本リサイクル協会総括本部設立 松江市で「親水権」確立の宣言	厚生省・ペットボトル許可	
1987 円高で古紙価格低迷、回収激減 1988 リサイクル市民の会・有機野菜宅配サービス(ラディッシュぼーや)開始 ボディショップ日本1号店開店 1989	独エコ・バンク設立(補足説明3) 英国『グリーンCガイド』出版 エコマーク制度導入 市民バンク設立		
1990 太陽電池利用製品にエコマーク 1991	滋賀県環境生協発足(補足説明4)	日本版『この店環境に良い』出版 ダイエーでレジ袋減量運動 廃棄物処理展・ウエステック始まる 農水省・有機農産物の定義を公表	補足説明4 1980年に琵琶湖条例が施行される前後から、環境に優しい石けん運動を展開したグループが、88年には「よみがえれ琵琶湖請願運動」を通して、居住形態に合った水処理を提案しました。さらに環境生協事業を通じて菜の花から搾った菜種油を給食に使い、その廃油から硫黄酸化物などの少ないバイオディーゼル燃料(BDF)を作り、車を走らせている。
1992 1993 滋賀で洗濯用エコ石鹸販売 1994 再生紙の世田谷ロール・ティッシュ 1995 1996 1997 トヨタ・プリウス発表 1998	未来バンク事業組合(日本初の本格的エコバンク)設立(補足説明5) 環境庁版の環境家計簿配布 グリーン購入ネットワーク設立	住宅用太陽光発電補助開始 エコ・グリーンテック展始まる 王子製紙他豪州で植林事業 三重トア紡ウールのリサイクル スーパーでのポリ・ラップ化 神戸でエコカーレンタル会社開業 家電リサイクル法の制定 月刊「日経エコロジー」創刊 「環境会議」創刊 有機農産物認証制度発足 アウトドア企業の「自然保護基金」 グリーン購入法の制定	補足説明5 組合員の出資金を元本にして、太陽光発電関連企業への融資や風力発電や合併式浄化槽などの環境関連の商品の購入に対しても融資を行う本格的エコバンク。なお、2001年には小林武史・櫻井和寿の2名に坂本龍一が加わって出資されたエコバンク、apバンクが設立される。
1999 花王・エコナ・料理油を販売 日興証券エコ・ファンド販売開始 2000 エコジョブ・ドットコム設立	apバンクをミュージシャンが設立	月刊「環境ビジネス」	
2001 2002			